

溪声

第9回

ほたるの 里の環境調査



株式会社和仁農園さん主催の「ほたるの里の環境調査」が7月11日(火)に行われ、本郷小学校5年生14名と一緒に調査を行いました。

上宝町見座地内は、ゲンジボタルが多く飛び交うことで知られています。最盛期には流路付近の木々に、クリスマスツリーの飾り付けのようにホタルが舞うのが観られ、遠くは名古屋からもホタル観賞に来られるそうです。2009年から行われているこの調査は今回で9回目となり、小学生のこどもたちと地域の関係者が一体となって環境調査をすることで、自然環境の重要性、水をきれいにすることの意味を知り、ふるさとを自分たちで守っていこうという取り組みです。

最初に、見座浄化センターを見学し、家庭からの汚水が浄化される仕組みを、実際の施設と水を見てもらいながら説明しました。その後川岸へ移動し、高原漁業協同組合さんのご協力で、稚魚(ヤマメ)の放流と水棲生物調査を行いました。

次に浄化センターと高原川の水を採取し、におい、アンモニア性窒素、透視度を測定しました。浄化センターから出る汚水が処理されてきれいな水となっていること、また、ホタルが棲む高原川の水がきれいなことを学んでもらいました。さらに簡単なクイズをすることで、小学生のみなさんに、より理解してもらえたのではと感じています。見座浄化センターの見学でも水質検査の時間でも、今回の児童の皆さんからは、非常に難しく厳しい質問が連発され、関心の高さを見て取れた気がします。

今後もこのような取り組みを通して、多感な時期のこどもたちを起点にしながら、ホタルの棲むきれいな水を守っていく動きが継続していけば素晴らしいなと感じました。私たちも引き続きのその一助になればと思っています。



飛騨市長より
-特別寄稿-

山、川、水～飛騨市の自然に思う

飛騨市長 都竹 淳也



「飛騨市の面積はどのくらいですか?」。全国市長会など、他の市長と顔をあわせる場に行くと、こうした質問から会話が始まる。「飛騨市は792平方キロで、東京23区よりも大きいんです」と言って驚かれる。さらに「そのうち森林が94%なんです」と言うと、山の多いところなんですねと納得される。

もともと「飛騨」の語源は、山巒(山ひだ)という説があるほど、飛騨市は文字通りの木の国山の国である。この山々が豊かな自然と美しい環境の源泉であると言っている。山は木を育み、豊かな木々によって蓄えられた雪解け水や雨水は、清流となって日本海へ流れる。

この清流は、飲み水となり、あるいは水路を流れ、町の美しさを生み出す。実際に町を流れる水路は市民の心の拠り所となってきた。飛騨市の市章は神岡、河合、宮川、古川の旧4町村の調和を、水をイメージした曲線で描いていることは、その事実を象徴している。

飛騨市の山々には全国的に見ても広葉樹が多いという特徴があり、その割合は7割を超える。同じ山でも新緑から深い緑、そして紅葉へと移ろっていく光景は、スギやヒノキのような人工林が多い地域に比べ、四季を感じやすい。それが心の豊かさを生み出す。

そして、豊かな腐葉土がミネラル分の多い水を生み出し、その水が高原川や宮川の美味しいアユやイワナを育てる。昨年、宮川町に移住されたアユ釣り名人の室田正さんは広葉樹林の多い川のアユが美味いと、全国の川で釣りをされる経験に基づいて語っておられた。また、飛騨市は溪畔林が豊かに残っているという調査結果も出ており、魚の生息に適した環境にあることを裏付けている。

こうした飛騨市の環境は、飛騨市民の誇りであると同時に、まさしく飛騨市の財産であると言っている。そして、我々はその環境を守る義務がある。飛騨市が取り組んでいる政策はこうした考えに基づいている。

まずは山の手入れである。人工林の間伐を進め、災害に強い森づくりをする必要がある。そのためには、施業を行う事業者の生産性を高める支援が必要だ。同時に、飛騨市の自慢である広葉樹の循環をよくするために、広葉樹を伐って使うための商品化、製品づくりも不可欠である。第三セクター「飛騨の森でクマは踊る」を中心に展開している広葉樹の販売・商品の企画は、こうした目的のために行なっているものだ。

河川を守るための対策は、下水道や浄化槽の整備と管理等を通じた水質の保全の効果が大きい。こうした地域の根幹をなすインフラは、計画的な修繕を通じて、将来にわたって守り続けていく必要がある。また、工場等の排水の適切な管理が必要なものも言うまでもない。この他にも、ゴミや廃棄物の処理、二酸化炭素の排出抑制など、取り組みは多岐にわたる。

神岡衛生社には、その実現に大きな力を発揮していただいている。今後も、飛騨市、特に高原郷の誇りでもある環境を守るための中核として、大いにご活躍いただくことを願っている。

日本庭園

川村 和夫先生

名古屋市在住
弁護士40年目の64歳
多趣味

日本は、地球上に比肩するものがない、優れた庭園文化を有する国である。ある国がどのような庭園文化を有するかは、その国の風土と国民の思想・感性に由来する。フランスに代表される幾何学模様などの整形庭園は、人間と自然とを分離的に捉え、人間が自然の一部であることの理解を妨げるものである。風景を楽しむ英国庭園は、人が自然の中に溶け込めるものであるが、芸術性において、日本庭園に及ぶものではない。中国庭園には、王宮庭園を中心として発展してきたためか、権力臭が感じられ、私の好みではない。

日本の庭は、訪れる者にくつろぎを与えると同時に、ある種の緊張感を与える。音楽や絵画や茶の湯などと同じ様に。日本の庭は、英国の庭より自然そのものからは遠いような気がするが、それは芸術性を高く有するが故であろう。

日本には、豊かな水分と四季の気温変化があり、様々な植物の存在が可能となり、山の有り様と川の流れが多様な石を生み出す。それらが組み合わせあって、芸術の素材となる。石庭の思想も分からぬではないが、植物と水の流れのある庭が、私は好きだ。

作庭は、優れた土木工事である。従って、財力を必要とする。維持にも費用が莫大にかかる。植物には、四季を通じてきめ細かい手当が必要なのである。

日本には、多くの優れた庭がある。しかし、もう新しく優れた庭が生まれることは困難である。今日のようなテクノロジーは、優れたデザインを生み出すことを容易にしたが、それを実現する優れた植木職人が存在するための社会的基盤がない。江戸時代に、各大名家や寺院が競って庭園を造り、それによってもたらされた植木職人の大量存在時代は、もう昔の物語りである。

私達日本人は、後水尾天皇が徳川家の財力をもって造った修学院離宮庭園が、日本の失われていく貴重な財産であることを認識し、生きているうちに、是非一度は訪れるべきだと思う。



こんにちは! メンテナンス課です!

No.12

●メンテナンス課は、浄化槽点検や下水道終末処理場の維持管理を中心に、水環境に係わる業務を行っております。また、高圧洗浄車による排水管洗浄、ご家庭の換気扇や水回りなどのハウスクリーニング、庭の落ち葉の掃除、墓石清掃も行っております。

お気軽にご用命下さい



今回は 移動式汚泥脱水乾燥車 についてのお話です。

移動式汚泥脱水乾燥車は、下水処理場から発生する汚泥の脱水及び乾燥処理を行なうことを目的としています。



処理場には汚泥だけを貯めておく槽があります。そこから引き抜いた汚泥を高速回転機械である脱水機（遠心分離機）で水分を取り除き、さらにボイラーの蒸気を熱源とする回転機械の乾燥機で乾燥することにより、汚泥処分量を減容させます。最終埋立処分地の不足などから汚泥を乾燥処理し、取扱性を向上させてから処理処分を行なう必要があります。乾燥した汚泥は焼却設備がある処理場へ運搬し、焼却処分します。

上宝町と奥飛騨温泉郷には七つの下水処理場があり、巡回して汚泥処理が行なえるようトラックの荷台に、これらの機械を搭載した車両を使用しています。

雑菌・カビなど

夏の汚れは

危険
がいっぱい!

夏は高温多湿のため、雑菌やカビが繁殖しやすくなります。
エアコンのフィルターやレンジフードはもちろんのこと、お風呂や
トイレなどの水廻りも要注意なのをご存知でしたか？

夏の汚れをすっきり落として、
快適に秋～冬を迎えましょう!

今、落としておけば大掃除はいつもより
楽に済ませられるはず。おうちの汚れ
をリセットしましょう!



掃除のことなら何でもお任せ!



このコーナーでは、当社の社員が、環境衛生の仕事の現場で見たこと、感じたこと、
あるいは仕事に関係のない趣味の世界を、交代で思いつくままに書き綴っていきます。

自然の中で

●平成28年入社
メンテナンス課所属 **森田 稜也** (もりたりょうや)

私には趣味がたくさんあります。その中で、もっとも長く続けていることが、自然の風景をスマホの写真に残すことです。ふと見上げた空や、何気ない木々など「綺麗だなあ」と感じた瞬間、スマホのボタンを押すだけなのですが、あとで写真を見返したときに、この飛騨の自然は改めて素晴らしいのだと実感します。



東京など都会に行く事もありますが、高いビルに囲まれ、見上げても空は狭く、アスファルトの隙間からのびた木々を見ると、本当に飛騨は自然豊かで住みやすいところだと感じます。

今後は、自分の撮影した飛騨の自然や風景を、SNSなどを利用して広めていく活動をしていきたいと思っています。また、このままの自然を守るために、まずはポイ捨てなどをしないことが大切だと思います。



7月7日、奥飛騨温泉郷にある栃尾保育園の親子夕涼み会に、環境戦隊エコレンジャーの出演依頼があり、8名で参加してきました。

会場となった広場には浴衣や甚平姿の子どもさんと保護者の皆さんが集まり、楽しい時間を過ごすことができました。

恐ろしい音とともに、突然環境ハカイダーと排ガス兄弟が登場すると、泣き出す子どもさんも見えましたが、エコレンジャーがピンチの時には、みんな大きな声で応援する姿がとても可愛かったです。

七夕の夜に出会った環境戦隊エコレンジャーの勇士が子どもたちのところに生き続け、地球の豊かな環境を守っていつてくれることを願っています。

※平成21年4月から環境戦隊エコレンジャーとして、環境保護やエコ活動に関する啓発活動を行ってまいりましたが、今年度を持ちまして出張パフォーマンスを終了させていただきます。長い間、保育園行事や各種イベントに出演させて頂き、本当にありがとうございました。



今まで
応援
ありがとう！



株式会社 神岡衛生社

〒506-1147 飛騨市神岡町東雲375番地

TEL0578-82-0337 FAX0578-82-5846 URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

ホームページからお問い合わせ、ご注文など承っております。なかなか電話する時間がない方も、そうでない方もお気軽にどうぞ。

業務内容

- 一般廃棄物収集運搬/し尿、ゴミ(一般家庭・事業系) ●産業廃棄物収集・運搬 ●浄化槽清掃
 - 浄化槽保守点検 ●浄化槽工事 ●上下水道設備工事 ●下水道施設維持管理(終末処理場・管路)
 - 衛生設備維持管理 ●ビルメンテナンス/床清掃、排水管清掃、貯水槽清掃 ●リースキン代理店
 - 水質分析/環境分析、排水分析、建築物飲料水水質検査 ●環境衛生関連商品販売 ●墓石清掃
- その他、環境衛生に関する全般のご相談に応じます。